

地域支援センター「しせい」

福島県立相馬支援学校地域支援センター通信 No.4 発行:令和3年12月24日/文責:飯田 里佳子

市町村の自立支援協議会について

先日、令和3年度第8回相馬市地域自立支援協議会子ども支援部会がありました。相談支援事業者、障がい福祉サービス事業者、医療・保健関係者、行政関係者、教育関係者が参加し、「第6次相馬市障がい者計画」「第6期相馬市障がい福祉計画」「第2期相馬市障がい児福祉計画」について協議しました。計画の中では、下記の施策の関連団体として、相馬支援学校の名前が記載されています。

教育との連携強化

・障がい児巡回相談支援員による市内保育園や幼稚園等の巡回訪問を県立相馬支援学校の「切れ目のない支援」と共同で実施し、教育との連携を強化します。

県立相馬支援学校地域支援センターしせいとの連携

・特別支援教育に関して、各校の校内体制整備の充実に向けて、相談支援や研修支援を実施します。

「交流及び共同学習」の実施

・県立相馬支援学校においては地域で学び、ともに生きる教育の実践として、学校間交流や居住地校交流を実施します。

地域交流の促進

・地域の資源を活用した教育活動の充実を図るために、地域と連携し、地域行事に参加したり、作業製品の販売、企業の協力のもとデュアルシステム型作業学習を行います。

教育との連携

・特別支援学校卒業後の進路選択の際の参考にできるよう、生徒及び保護者を対象に福祉サービス事業所説明会を開催します。

福祉計画等の詳細は、各市町村のHPからご覧いただけます！

障害者自立支援法等の一部改正により、平成24年4月から法定化された（自立支援）協議会は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を着実に進めていく役割を担っています。



本校地域支援センター「しせい」では、相馬市地域自立支援協議会子ども支援部会、南相馬市・飯館村地域自立支援協議会子ども部会、南相馬市・飯館村地域自立支援協議会発達障がい者支援部会、相馬地方児童発達支援連携会議に出席しています。

<参考>

■厚生労働省 HP→https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu-Kikakuka/sankou3_1.pdf

■第6次相馬市障がい者計画 第6期相馬市障がい福祉計画 第2期相馬市障がい児福祉計画

校内の取り組み

親子学級すくすく「講演会」 子育てを楽しもう！～ペアレントプログラムの実践～

11月25日(木)に、臨床心理士の高橋 紀子氏をお招きし、講演会を実施しました。実践では、お子さんの行動を細分化しながら、今どこまでできているのかを把握しました。保護者さん同士で会話をしながら進め、他の家庭の様子を知る機会にもなったようでした。

ペアレントプログラムを実施して…

今できていることを確認する
解決できないなりに工夫・努力していることを認め合う
日常を回している自分を褒める



～参加された保護者さんの声～
普段ついつい「〇〇しないよ!」とやってしま
うが、「〇〇しよう。」と共有したいと思う。

当日の様子、内容
等は本校 HP にも
掲載中です!



ペアレントプログラムの実施は、発達障がい児者の家族同士の支援を推進するため、厚生労働省や自立支援協議会等の施策にも掲げられています。

「切れ目のない支援体制整備事業」をご活用ください

～幼稚園、小・中学校、高等学校、市町村教育委員会等への相談・研修支援～

特別支援教育に関する
校内研修を充実させたい

個別の教育支援計画や個別の指導計画
を作成・活用した取組、引継ぎの充実
に向けたアドバイスが欲しい

お問い合わせ
相双教育事務所
0244-26-1314

障がいのある幼児児童生徒の
指導・支援を充実させたい



「特別支援学級」や「通級による指導」で
の指導・支援を充実させたい

ケース会議や校内委員会を充実させたい

学校や市町村教育委員会等のニーズに対し、特別支援学校・特別支援教育センター・
教育事務所のチームで「相談支援」と「研修支援」を行います。

担当者が学校
等に伺います!



<参考> ■福島県 HP → <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70710a/shidou01.html>

また、相馬支援学校地域支援センターでは、電話相談・来校相談を行っています。
お気軽にご相談ください。

専用電話 080—7216—7351 (飯田里佳子) 学校電話 0244—67—1515